

みんなの活動紹介します

『たんぽぽ』



2015
Vol.

19

活動地区：港南

昔からの付き合いを大切に

「もともと住人の中で見まもりの活動をしていましたが、その延長でサロンを始めました。みなさん長年住んでいる人が多いので、サロンにきている人もお互い付き合いが長いんです」とサロンを始めたきっかけを話すたんぽぽ代表の佐々木さん。都営住宅の集会室で2年ほど前からサロン活動を始めました。

また、社協の「声かけ見まもり活動」にも登録して、自治会として行っています。



暑気払いスタート！
おしゃべりに花が
咲きます（^o^）

より良い活動を目指して

「いろいろとやってみたいのですが、活動できる人が少なくてなかなか難しいと感じています」と佐々木さん。理由のひとつとして、若い世帯はあらかじめ10年の入居期間が設定されていることが多いため、都営住宅に定着するのが難しいことを挙げていました。

今後について何うと、「住宅の各階に見まもりをしてくれる担当を置きたいです。そして見守りもしながらサロン活動のお誘いをしてほしいです」と話していました。

今後もサロン活動や声かけ見まもり活動を大切にしつつ、地域のニーズに沿った活動を広げていき、ひとりでも多くの人たちがつながり、支え合う地域となってほしいと思いました。



救急キット等の説明。
情報収集は重要です。

つながりの大切さ

活動は主に茶話会で、近況報告が中心です。取材した日は季節行事の暑気払いを開いていました。ふれあい相談室と高齢者相談センターの職員も来て、住民と専門機関がお互いに顔つなぎができています。また、おしゃべりを通して、佐々木さんも参加者のちょっとした困り事の把握に取り組んでいました。

参加している人からは「前は家に一人でいたこともあったけど、出てきてみんなと話すことは楽しい」、「集まってみんなと話をすることで、励ましてもらったり、自分の話を聞いてもらったりできることが良い」等、つながりの大切さを話していたほか、「今回のように食事の会だと、一人で食べるより楽しい」と季節行事を楽しみにしている人もいました。

みなさんの手料理も
ふるまわれました！

